

## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ

上場取引所 東

コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 哲

問合せ先責任者 (役職名) 社長室室長

(氏名) 間野 文祥

TEL 050-3508-5835

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,632	5.3	1,008	38.3	1,325	31.1	857	12.7
2025年3月期第3四半期	7,248	11.8	729	0.6	1,010	11.5	760	10.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,347百万円 (10.4%) 2025年3月期第3四半期 1,503百万円 (26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	67.41	
2025年3月期第3四半期	59.82	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	20,794	17,965	85.7	1,401.42
2025年3月期	20,258	16,964	83.0	1,322.58

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 17,823百万円 2025年3月期 16,820百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		27.00	27.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,530	7.0	1,250	16.9	1,590	9.7	1,185	27.0	93.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	13,326,389 株	2025年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	608,557 株	2025年3月期	1,217,114 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	12,717,832 株	2025年3月期3Q	12,717,875 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、2025年4月から9月にかけて、内需の回復の鈍さと輸出の低迷により、景気の下押し圧力が継続しました。特に、米国による追加関税の影響を受けた自動車輸出の減少により、外需の回復は限定的なものとなりました。一方、10月以降は、所得税減税やエネルギー補助金の効果が徐々に現れ、個人消費には持ち直しの動きが見られました。物価上昇は継続しており、コアCPIは高止まりしている一方、賃金上昇の動きも一部に見られるものの、家計の実質購買力の改善は限定的なものにとどまりました。設備投資につきましては、半導体、AI、脱炭素関連分野を中心に、企業の投資意欲の底堅さが示される面も見られました。その結果、外需は引き続き低調であったものの、内需を中心に景気は持ち直しの動きが見られました。今後につきましては、米国の追加関税の影響により輸出の回復は限定的にとどまるものの、個人消費および成長分野を中心とした設備投資が支えとなり、内需主導の緩やかな景気回復が続くことが期待されます。海外経済においては、米国経済は高金利・高インフレ環境の影響を受け、成長は緩やかなものとなりました。労働市場や個人消費は底堅く推移したものの、物価上昇率は依然として高水準にあり、FRBはインフレ動向を見極めつつ段階的な利下げを実施しました。設備投資は、AI、半導体、再生可能エネルギー関連分野を中心に底堅さが見られ、米国経済は減速感を伴いながらも総じて堅調に推移しました。欧州経済は、インフレの鈍化を背景に回復の兆しが見られたものの、高水準の金利や世界貿易の減速、地政学的リスクなどにより、回復の動きは緩慢なものにとどまりました。中国経済は、不動産セクターの低迷や内需の弱さを背景に、景気回復は引き続き緩やかなものとなりました。政府および中央銀行による政策対応が講じられているものの、構造的課題は依然として大きく、回復は力強さを欠いた推移となりました。今後につきましては、ウクライナ情勢および中東情勢など地政学的リスクが引き続き世界経済の不確実性要因となるほか、米中間の貿易・技術摩擦の動向や各国の金融政策の行方など、先行きには不透明な状況が続くものと見込まれます。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売では、製鉄関連市場において、前期に発生した大規模案件が当期は発生しなかったことなどで低調な売上となった一方で、工場設備市場において、省エネルギー効果・CO<sub>2</sub>削減効果に寄与するワイズジャケットの好調などにより売上を伸ばし、国内売上は前期を僅かに上回る推移となりました。海外顧客向け販売では、中国向けやアセアン地域向けの販売が好調に推移したことにより、販売活動全体としては前期を上回る結果となりました。今後につきましては、販売活動においては、国内外の建築設備物件の受注率・受注額を向上させ、流通、エンドユーザー、建築物件の三つの領域で営業強化を推進し、海外販路の更なる拡大を行います。製造活動においては、製品ラインアップの拡大および新市場へ投入できる製品開発を推進し、開発スケジュールの厳守を図り開発期間を短縮して開発力を向上させます。そして内製化を含むサプライチェーンの多様化および自然災害への対策強化などリスク管理の強化を行い、より一層の省エネに取り組みサステナビリティ経営を推進させるなど、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は76億32百万円（前年同期比 5.3%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底したことなどにより営業利益は10億8百万円（前年同期比38.3%増）、経常利益は13億25百万円（前年同期比31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億57百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は207億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億36百万円増加しました。主に仕掛品が1億47百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が1億23百万円増加したこと、有形固定資産が1億25百万円増加したことなどによります。

負債は28億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億64百万円減少しました。主に短期借入金が5億円減少したこと、長期借入金が1億6百万円減少したことなどによります。

純資産は179億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億円増加しました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益を8億57百万円計上したことにより利益剰余金が2億69百万円増加したことや為替換算調整勘定が4億85百万円増加したことなどによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,555,202	3,607,819
受取手形及び売掛金	2,039,915	※ 1,998,910
電子記録債権	1,092,688	※ 1,079,334
有価証券	305,951	99,641
商品及び製品	1,473,181	1,592,321
仕掛品	905,686	1,053,204
原材料及び貯蔵品	1,083,593	1,207,265
その他	209,444	412,646
貸倒引当金	△22,741	△19,665
流動資産合計	10,642,923	11,031,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,821,707	4,075,743
減価償却累計額	△2,196,510	△2,413,938
建物及び構築物 (純額)	1,625,196	1,661,805
機械装置及び運搬具	5,077,267	5,587,663
減価償却累計額	△3,800,385	△4,306,061
機械装置及び運搬具 (純額)	1,276,882	1,281,602
土地	1,307,764	1,349,787
リース資産	374,369	382,225
減価償却累計額	△157,368	△189,211
リース資産 (純額)	217,001	193,013
建設仮勘定	44,153	109,363
その他	1,222,133	1,258,726
減価償却累計額	△1,140,218	△1,175,413
その他 (純額)	81,914	83,313
有形固定資産合計	4,552,911	4,678,884
無形固定資産		
のれん	721,854	623,346
その他	44,129	114,616
無形固定資産合計	765,983	737,963
投資その他の資産		
投資有価証券	3,827,805	3,850,781
その他	468,965	495,504
投資その他の資産合計	4,296,771	4,346,285
固定資産合計	9,615,666	9,763,133
資産合計	20,258,590	20,794,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,232	※ 649,832
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	144,060	142,766
未払法人税等	164,974	251,386
賞与引当金	197,158	116,490
その他	489,103	537,032
流動負債合計	2,078,529	1,697,507
固定負債		
長期借入金	351,738	244,987
リース債務	115,451	107,583
役員退職慰労引当金	152,324	160,562
退職給付に係る負債	409,116	430,063
資産除去債務	47,382	47,529
その他	139,360	140,907
固定負債合計	1,215,374	1,131,633
負債合計	3,293,903	2,829,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,539
利益剰余金	10,577,493	10,846,821
自己株式	△489,951	△244,975
株主資本合計	14,654,122	15,168,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,745	106,389
為替換算調整勘定	2,063,533	2,548,626
その他の包括利益累計額合計	2,166,279	2,655,016
非支配株主持分	144,285	142,395
純資産合計	16,964,686	17,965,471
負債純資産合計	20,258,590	20,794,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,248,672	7,632,136
売上原価	4,386,512	4,537,596
売上総利益	2,862,160	3,094,539
販売費及び一般管理費	2,133,141	2,086,503
営業利益	729,018	1,008,036
営業外収益		
受取利息	42,501	41,289
受取配当金	4,865	4,758
組合投資利益	—	89,003
持分法による投資利益	339,736	322,937
その他	23,467	33,185
営業外収益合計	410,570	491,174
営業外費用		
支払利息	12,882	10,371
為替差損	106,394	149,399
その他	9,388	14,093
営業外費用合計	128,666	173,864
経常利益	1,010,922	1,325,346
特別利益		
投資有価証券売却益	53,650	—
特別利益合計	53,650	—
特別損失		
会員権売却損	—	7,700
特別損失合計	—	7,700
税金等調整前四半期純利益	1,064,572	1,317,646
法人税、住民税及び事業税	223,067	466,938
法人税等調整額	78,253	△10,181
法人税等合計	301,320	456,756
四半期純利益	763,251	860,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,489	3,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	760,762	857,319

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	763,251	860,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,470	3,643
為替換算調整勘定	655,408	628,691
持分法適用会社に対する持分相当額	78,958	△146,058
その他の包括利益合計	739,836	486,277
四半期包括利益	1,503,088	1,347,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,498,772	1,346,056
非支配株主に係る四半期包括利益	4,316	1,110



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
受取手形	一千円	2,103千円
支払手形	—	7,317
電子記録債権	—	29,547
電子記録債務	—	108,948

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	400,391千円	391,036千円
のれんの償却額	135,798	98,507

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,658,418	1,590,254	7,248,672
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,658,418	1,590,254	7,248,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,198	1,459,938	1,534,136
計	5,732,616	3,050,192	8,782,809
セグメント利益	609,361	167,188	776,549

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	776,549
セグメント間取引消去	△11,194
棚卸資産の調整額	△36,336
四半期連結損益計算書の営業利益	729,018

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、レッツ株式会社を連結子会社としたことに伴い、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては223,748千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,585,744	2,046,392	7,632,136
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,585,744	2,046,392	7,632,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	161,607	1,589,037	1,750,644
計	5,747,352	3,635,429	9,382,781
セグメント利益	753,526	267,098	1,020,624

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,020,624
セグメント間取引消去	3,338
棚卸資産の調整額	△15,926
四半期連結損益計算書の営業利益	1,008,036

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。